

マイアポカリプス

山内晶

○あらずじ

それはタジカヌーリアン人の収穫祭の日。失踪していたはずの呪術師・ワタンシが現れる

ワタンシはゆるやかに滅亡を迎えようとしているであろうタジカヌーリアン人たちに、とある呪術を見せる。

それは失踪している間にワタンシが言ってきた場所、見てきたもの、感じたこと、そして提案だった。

ワタンシは言った。「こんな場所を捨てて、新天地に旅立とう」

ところでワタンシにはアナタンという幼馴染がいた。アナタンの姿は見えない。

ワタンシは集会に集まる全民族に、説得をする。呪術を使い、身を粉にして。1人ではしゃいでいる愚か者の言葉に身を貸すものはいない。かもしれない。

これらのおはなしを話者がつむぐ。

○登場人物表

ワタンシ

呪術師。

アナタン

薬師。

話者

物語を紡ぐ人。

素浄瑠璃リスペクト。音を旅する物語を作る。
人の声、鳴らす音、ふるまい、これらで音楽を作る。
音楽はグルーヴを生んで、うねりを作って次元を歪
ませる。

●まくら編

話者登場。見渡す。落ち着いて立つ。

話者 どうも

架空のおはなしをよろしければ。
事前に3つ、ご説明。

話者 いち。立地と民族。

話者 とあるとある飛び散ったカレーのような地形の
話者 すすけた土の平野で、とある民族がにらみ合っ
ていました₁

話者 南からきたヌーリア人と北からのタジカン人
話者 なぜか？移住先を取り合っていました

話者 この土地は池が3つあって、土が豊潤。で、俺が
住むんだ、いや俺が、私たちが、は？なんで？と
一触即発

話者 そして、荒れに荒れて、もーアレや！出るとこ
でたろーやないか！とだれかがボーンとものを
放った瞬間

話者 ズーーーーーっと、きゅーーーーに大地が
東京ドーム程度の大きさに、顔の形に盛り上が
りました

話者 えーーーーっとみんな思いました。みんな今は鼻

の上

話者

「鼻の上で揉めるな、喧嘩と畑はほっぺでやるとよろしい」と顔はそう言おうと、それ以来まったく喋らなくなりました

話者

これが、タジカヌーリアン人の創世記

話者

に。登場人物。主な登場人物は、2人。

話者

ワタンシ。半年前に突然疾走した占い師です。

話者

アナタン。ワタンシが唯一心を通わせている人。

話者

さん。そして物語の舞台は、鼻の上の集会場。滅亡寸前タジカヌーリアン人の収穫祭の日に、失踪していたはずのワタンシが突然現れるところから物語は始まります
ワタンシは最新の映像呪術を使い、世迷言をいい、民衆をそそのかそうとします。
なにをそそのかそうとするのか？ワタンシの本₂当の目的はなんなのか？
そんなとある民族の衰退と破滅にまつわる物語。
：：ずっと逃げていた人が、逃げなくなるまでのお話。

話者

架空のお話。寓話。童話。いまのあなたにはどう
でもよいこと。

それでも。ぜひ。

マイアポカリプス。

うごく。うごとと魔術が始まる。

●大移動プレゼンテーション開会宣言

ワタンシが呪術に包まれている。

ワタンシ 『鳥はもう飛びたった、地に根を下ろしまし
よう。滅びのなかに、宇宙があった。おわりの
踊りはおわらない。根のない草は枯れた、人は
歌うように死んでいく。最後の木が失われて
も、衰退を繰り返しても、あなたは継承を選ぶ
だろう』

ワタンシが笑う。

ワタンシ この歌。この集落の歌。我もこの歌をきいて、
育ちました。

ようこそ。私の時間へ。

我は、ながい失踪から帰って来ました。

なぜ帰って来たか？

主張をしに来たから。

長い長い主張を聞いてほしい。

最後まで聞いたら、判断してください。

嘘ばかりついて来たけれど、我は覚悟ができ

ました。

自分の生み出した言葉は人には思った通りに

届かない。

それでも、我は話さないといけない。

もう不幸への夕暮れを待ちはしない。

ここは滅びゆく、たそが、れ時の土地。

そこで我われとあなたとアナタンのことを話し、

語る。

動く。呪術。

● 予言編

ワタンシ

ようこそ、私の時間へ！

ずっとは真面目に喋れない、私の時間へ、ようこそ！

さて。なぜ我がきゅーにノコノコ帰ってきて大事な祭りに突然ボォーンと飛び込んできたか？

それは、
こういうこと！

動く、呪術。

ワタンシ

緊急企画。我と共に、こんな土地をうっちゃり捨₄てて外の世界に出かけませんか？

YEAH!

動く、呪術停止。

ワタンシ

我と共に、こんな土地をうっちゃり捨₄てて外の世界に出かけませんか？

我、ワタンシ、失踪してるあいだどこにいたか。

冒険をしていました。五感が入れ替わるよーな、めくるめく冒険を。していた。

場所は、彼方の方角の、あの遠くの、遠くの、遠くにある、西の山の上！あるいて。この足で。

んーんーんー？どういうことなの？こおんな感じに、いつもの呪術を使い、かいつまんで、おはなししましょう。

YEAHI

音を鳴らして呪術。

●おいたち編

ワタンシ まず、ワタンシが旅立つまで。

我、ワタンシ。そうですね。ソウルメイトのアナタン以外は全方位に慇懃無礼の。ゆるふわなボンクラ。うそつきキャラの占い師。腰が低いのに嫌われている。全部私です。なけなしの食料財産をちよいちよい盗んでいたのも実は私です。たいせつなたいせつな右目の水たまりに自転車を捨てたのも、私。すみませんすみません。

しかし。こんなボンクラでも、夢占いは百発百中なんです、誰も信じないけどそうなんです。そして、半年前の我は。ほっ。

音を鳴らして呪術。

ワタンシ こーんーんーんーやって、寝ていました。

豚のように、寝ていた。

「あーあー、もう干からびたコーン盗んで食いたくねえ、死にそう、酒飲みてえ、酒飲みてえ」と豚のように、寝ていた。

そしたら、こんな声が、降りて来ました！

ハツツツツ

音を鳴らして呪術。

● 酋長喧嘩編

ワタンシ あの遠くの、遠くの、遠くにある、西の山の先、地平線の向こうに、豊穡の地がある。そこへ移り住み、新しい民族の中に溶け込め……！！

呪術変更。

ワタンシ この、とっても意味のありそうな、声！

聞こえたのはおおよそ半年とちよつと前。ですよね？

これを聞いた我、アナタン。の命令で、メッセ₆ンジャーとしてこれを酋長に伝えましたね、こんなお告げがあったけど、あったけど——とね。

すると酋長やあなたがたはこう言いましたね。

音を鳴らして呪術。

天 の 酋 長

ijdoi jdoi jdois jdoia jsdoi jsaoid jasoid josij

Joidjoi jdoi jsdpoj spjdopas jdpoas jdoppjpo

Hoidio jdoi joidjsoi jdois jdoisjo joi jdjsf jpdsoj

音を鳴らして呪術。

ワタンシ こうでしたね。え、ひどくない？我はマジでひきました。あなたがた、ひどくないですか？だから言いたくないって言ったんです。

信用されてないから……！！

しかも、ねえ。「足元のお顔様の気持ちを考えろって」言いましたけど。ねえ？自分がガンガンに踏んでるこの巨大な顔の気持ち？

どーゆーことよ、どーゆーことよーー？

っと、我は心をさいなまれてしまっつて。こうなつた。

音を鳴らして呪術。

ワタンシ アア！占い師が、占いを信じてもらえないなんて……メソ、メソ

もうだめだよ。この土地では頭打ちなのよ。ああ、もうこんなところ出ていこう！みんなを見殺そう。あばよう。

こうして？

サイは投げられ、ご存知の通り、我は、この土地より失踪をしました。

しかし我は1人で失踪した。……裏切られたからです、アナタンに、こうやって！

音を鳴らして呪術。

●アナタン来ない編

ワタンシ なあなあアナタン

アナタン なんだいワタンシ。そんな大荷物でどこ行くの。

ワタンシ ん？これ？荷物荷物！あんねえ、我ね、いまからね、あれ、あの西の山。行って、占いの正解を確かめに行く。世界の真髓をとっくりみてもやろうと、そう思うんだ

アナタン えーっ！？まじかいな

ワタンシ なあなあアナタン。

アナタン なんだいワタンシ。

ワタンシ ……一緒に行かん？

アナタン んえーえっ？

ワタンシ うん、一緒に行かん？ほら、だって！1人で真髓見ても、また嘘だつて言われるのかと思つたらシラけるよ。それに我さ、1人では行きたくないの。ここに残つたつて死ぬだけよ？それにそれにアナタンと我、ソウルメイ。トも恋人も伴侶も愚妻も愚父も追いつかん関係性しとるよ？我がアナタンを更新するし、アナタンが我を更新するんよ！いま、壮大な岐路だ。傍らにはアナタンがいなとだ！

アナタン ん。

ワタンシ んー？了解一択じゃろう？

アナタン ……ん。ワタンシ。…いつてらっしやい。

ワタンシ ……なにい！？いつてらっしやいだと…

…！？

やだやだやだやだやだやだ！いーやだ！いやだいやだよー！

● 下山編

ワタンシ と。

アナタンは、全く、来ませんでした！

さあ、こうして、アナタンにフラれた苦しみを胸に、トンコロピー……ピー……（稲垣足穂より）と意味わかんねえ笛の音がなる夕暮れ。

音を鳴らして呪術。

キックボードでワタンシおどり出る。

ワタンシ 我は、この、盗んだバイクで走り出しましたよ？

我は無意味にアナタンと誰かの家屋をちよろつと破壊し、走り、走り回り、乗り回しました。悔しかったからです。

先人はこう言いますね？粥を、ゆるく煮るヤ、カラと、仲良くは、なるな。と。覚えてろ、アナタン！わー！

数秒休符がわりに走り回る。

ワタンシ そしてお顔様の北北西側のこめかみ部分の崖をズゾゾゾ

キックボードをうちすてる

ワタンシ とこんな感じに、無様に、ドンガッデン平野におりたったの。

動く。あわせて呪術がかかる。平野の音が広がる。

● ドンガッデン平野編

ワタンシ ……これが、私の頭に残る、平野の声や！（感

動の再現）

今思えば、平野に降りるのはそれが初めて。
こんなかんじなんだ。角度が変わると世界は
変わるの。
さて、

音を鳴らして呪術。

ワタンシ ここは、ドンガッデン平野！

雄大に、はてしなく、赤く乾いた固い土がひろ
がーっていています。

我はそこに、一步。また一步と。

平野の硬さを一步一步踏みしめながら、歩い
ていくことにしました。

踏みしめて歩きます。踏みしめて歩きます。踏
みしめて歩きます。踏みしめて歩きます。踏
みしめて歩きます。踏みしめて歩きます。

そうすると、だんだん、古くからの教えにあつ
た、メモリーボイス、神秘の声が聞こえて来た
のです。

音を鳴らして呪術。天の声は声だけ聞こえる。

天の声

nihoihdoajdoiwjo

食べたら食べっぱなし、脱いたら脱ぎっぱな
し。だらしのない子は独り身地獄

ワタンシ 神秘の声が聞こえて来たのです。

天の声 *hohoihdoadjoiwjo*

トウモロコシを鼻に入れてフーンってやって
ごらん、フーンって。ほーら飛んだ。

ワタンシ 神秘の声がまた聞こえて来たのです。

天の声 *hohoihdoadjoiwjo*

イーグルの羽でいやらしいことが思い浮かぶ
よお。腐ったみかんこまったダンカンぶすな
オカン

ワタンシ 神秘の声がいくらでも聞こえて来ました。

天の声 子供達が食べてる途中でしようが

ワタンシ もう神秘の声は二度と聞きたくないなと気が、
重く、なって、だんだんと足取りさえも重くな
っていく気がしま……いや！？

音を鳴らして呪術。

ワタンシ 違う、物理的に重くなっていました。どうして
だろう？泥でした。

あれま、泥だ！この水不足が騒がれる昨今
に！
と思っていたら！

音を鳴らして呪術。とうもろこしが浮遊。

ワタンシ あ。とうもろこしだ。

とうもろこしが浮遊。

ワタンシ ここはドンガッデン平野。

とうもろこしが飛来しました。
とうもろこしは、たべもの。
突然飛来したとうもろこしを我は追いかけて、
泥の中を這いずりながら、泥水をすすり、前進
することとなりました。
するとどうでしょう。

音を鳴らして呪術。

ワタンシ 最初は乾いた土だったドンガッデン平野は、
実は、乾いた土、湿った土、泥っぽい土、沼、
赤い瑞々しい草原という、グラデーション状
になっていたのでした。

ワタンシ 大地はグラデーションでできているんです
ね！

いやー目に見えるものだけが全てじゃあ、
ない！って感じですね。
……あ、実はこの時にね？

倒れて地べたを這いずる。

ワタンシ 我は既に死にかけていましたよ。
食料も完全に底をつきて、泥水すするせいで
お腹はキュルンキュルンの死にかけ。杜撰な
計画による不慮の餓死。意識が朦朧としてい
ました。私は蜃気楼のような、架空の存在と、
会話をすることで自我を崩壊させることで自
我を保っていました。
え？

とうもろこし ———— クーのオービー（かけっこしようぜ）

ワタンシ かけっこ？やだなあ
とうもろこし コロのやロロ（1、2、3！）
ワタンシ あ！ちよっと待ってー！えほえほえっほえっ
ほ！

待てよー！えほえほえほえっほ！

しばしとうもろこしとおいかけっこ。
とうもろこしが消える。

ワタンシ ドンガッデン平野の終わりは突然あらわれま
した。

グラデーシヨンの後の、唐突なカットアウト。

…あら？崖だ。

崖って何か知ってる？

人生初の、崖。こうなったよ！

あああああああああ！

音を鳴らして呪術。

●水中世界溺死寸前編

水中世界。

溺れる動きがひとくさり。

ワタンシ いやあ。西の山まではてしなく続くと思って
いたドンガッデン平野に、大きな崖、断層があ
りました。

断層を落ちると水に落ちました。

ポッテャーーン！と。落ちました。

水に。水の中に、なみなみとあつまる水の中。

水があつまる場所を、我は生まれて初めて見た、見つけ出した。
このいま踏んでいる不毛の大地のもっと下には、不毛は広がっていない。
これ！こんなものがあつた。

呪術で地底湖の画像

ワタンシ これは、地底湖という名前みたいです。

わけがわからないでしょう？こんな大きな水
のあつまりをみたことがないでしょう？

そんなものに落ちたら、どうなるか……溺れます！

さあ、ここでしばし、地底湖でおぼれる我を
しばしご堪能ください。
はいっ！

●地底湖民族編

ワタンシ わー！ワープワープワープ。ワープ

ワープワープ。ワープワープワープ

プ。ワープワープ！

はいっ！

ワタンシ ふざけてると思った？

溺れたことないからですよ？溺れるってね、
死ぬことです。

餓死と溺れるは、生きることと死ぬことが同
居してるの。多すぎる水は怖いよ。

そんでワープワープ！としていると、

音を鳴らして呪術。

ワタンシ 乗り物がやってきました。
これ。

呪術で船の画像を表示。

ワタンシ 船。といいます。

船。には浅黒い顔の、刺青のいかちい、顔がパ
ンツパンの男が、いた。男は露骨にダアレ？
という顔をしていました。
我は思いました、助けろと。
そしてこう言いました。

音を鳴らして呪術。

ワタンシ ワーップワーップ！助けてくださいあい。

ジェロヒロ ……:od]fioa?

ワタンシ ……助けろ！

ジェロヒロ ……:od]fioa?

ワタンシ おい！…わはは。だすげろヨ！だーすーげー
ろヨ！

ジェロヒロ ……:od]fioa?

ワタンシ なかなか助けないダボ野郎の名前は、ジェロ
ヒロ。

宿敵、ジェロヒロ。

職業、格闘家。

趣味、武者修行。

同じくらいデケー母親と二人暮らし。

なぜ母親と二人暮らししか知ってるか？3人暮

らしをしたからです。しばらく。
なんでか？こういうこと。

呪術によって景色が変わる

●地底民族ビザ取得編

ワタンシ ジェロヒロが8回目の助けろでやっと我を船にすくい上げて、特殊な装置をはめられて、船をどこかにプカプカ移動させまして。陸に上がりました、ジェロヒロの街の、役場というものに連れて行かれました。役場の女に会いました。

呪術によって景色が変わる

受付 fhjsgfuyjipjfpofspafposfpa

ワタンシ ……あ、よかった、あなたの言葉はなんとかわかります、我は、ワタンシ、っていいいます

受付 fhjsgfuyjipjfpofspafposfpa

ワタンシ へえ。へえ。へえ。ああそうです、上から。はい。

……あ、東の方に顔の形にもり上がった集落があるんですけど

受付 fhjsgfuyjipjfpofspafposfpa

ワタンシ あ、知ってます？あ、有名？秘境？……ええ？いやいやいや。

あの、じゃあ逆に、ここってどういう場所なんでしょうか……我こういうところに来るの初めてで

受付 ojhufhjfpofspaskfppfaskfp

ワタンシ はあ。地底湖民族

受付 ojhufhjfpofspaskfppfaskfp

ワタンシ ……え？この人が？俺の家で預かるって言うてる？……え、どうしてだろう。

……じゃあ、まあ、ありがとうって、伝えてください。

受付 ojhufhjfpofspaskfppfaskfp

ワタンシ え！？じゃあビザをとるべし？……ビザってなんで すか？

受付 hufhjfpofspaskojhufhjfpofspaskfppas…

hufhjfpofspaskojhufhjfpofspaskfppas…

ワタンシ はあ、へえ、もしこの街に長期で住む場合？滞在を許す証明書が必要で、それがビザ？はあはあ。

ん？滞在ビザの取得は、試験が必要？

……試験ってなんのですか？

受付 hufhjfpofspaskojhufhjfpofspaskfppas…

hufhjfpofspaskojhufhjfpofspaskfppas…

ワタンシ リズム、試験……！！？

呪術によって景色が変わる

●リズム受験勉強編

リズム試験の勉強をしている時の心象風景

ワタンシ ここは、地底湖民族都市。

リズム試験をうけることになりました。

リズム試験って何か？

この地底湖民族都市は、敵から街を守るために、数種類の独特のリズムをつくり、リズムによって民度をはかっていたようだ。

合言葉は「郷に入っては郷に従え」もとい「リズムにのれ、のれない奴は去れ」

我は思うわけです。取れるビザは、とつとけ我は練習をはじめました。乗るために。リズムに。なりゆきで。

独特の民族の踊りの練習をしつつ。

ワタンシ いやーいい暮らしでした！

3 食風呂つき酒飲み放題のこの生活は、生涯初の飽食と暴食と強欲。

そんな幸せな自堕落で最＆高な日々は……

呪術によって景色が変わる

ワタンシ 長くは続かなかったのです

あのおぞましき事件のせいで、我は、

呪術によって景色が変わる

● ジェロヒロ告白編・外出

ワタンシ あ？おいジェロヒロ。どこ連れてくんだよふざけんなよ今日ママさんがディナーは合鴨だっついてたじゃねーかよ早く帰ろーぜーおーいーどこいくんだよ。バカかよお前っ

●ジェロヒロ告白編・水上ダンスホール

ワタンシ おっ。なんだよここ。おー！しびい感じのイケてるダンスホールだな。

地底湖の水がライトアップされてて！月夜も地底湖を青く照らして！綺麗だなあ！

ジェロヒロ *nodding*

ワタンシ ん？独特のリズムに合わせて踊ろう？えー？やだよおまえのダンスだせーんだよなー
って、おお！

ジェロヒロとワタンシはワルツを踊る

ワタンシ 踊りながら

ワタンシ 我は、このとき、……まじでやべえと
思っていました
19

……これ……お前……告白しようとしてね？

いや！……私の野生の本能が言ってる

……プロポーズでしょ？

……っ。……クアー！

呪術によって景色が変わる

ワタンシ ……あ、りえない……！

呪術によって景色が変わる

ジェロヒロとワタンシはジャイブを踊る

ワタンシ やばい予感はしていた。ママさんが急に、自分の昔使ってたブローチくれたり、ジェロヒロ

の中学のアルバム見せてきたり……「性別など愛が超える」というおことば。
……このお膳立ては多分やばい。
私は引き延ばしに引き伸ばしていたリズム試験を、大急ぎで受けることにしました。
そして時は来た。リズム試験の受験日も、やってきた。

呪術によって景色が変わる

●リズム試験編

ワタンシ ……（試験前の緊張）

ワタンシは台の上に乗る。

ワタンシは深呼吸ののちに。

ワタンシ ……1038850番です。宜しくお願いします！

伴奏が鳴る。

ワタンシは約1分程度、リズムを刻む。

ワタンシ ヤア！（演奏終わり）

沈黙。

ワタンシ ……（結果待ち）

合格の音。歓声があがる。一発合格。

ズ。
たくさんの拍手にかこまれ、ワタンシがガッツポーズ。

ワタンシ ダッシャー—————あああー！
試験に受かりました！自立の確立！あばよ！
ジェロヒロ……！

歓声からの、唐突な無音。
通達の文字が出てくる。

文字 「合格おめでとう」

ワタンシ あ。ありがとうございます

文字 「ところであなたは東のお顔の上に住む民族
だそうですね」

ワタンシ あ、はい。

文字 「あなたにビザは出せません」

ワタンシ ……どうして？

文字 「あなた達民族は老人の上で、すくない資源
を貪って、恥ずかしくないのですか？」

ワタンシ え？

文字 「リズムをたどって、山の上に登ってごらん
なさい。

ワタンシ ……はあ。
全てはリズムとヴィジョンが導いていきます」

文字 「山の上から、あなたが無理をさせてきた人
の顔をよく見るといい」

ワタンシ 「山の上から、あなたが無理をさせてきた人
の顔をよく見るといい」だって。

……こっちの景色を、しりもしないで。

金髪の少女達がワタンシに霧吹きを手渡し去る。
ワタンシ動く。呪術が切り替わる。

●リズム登山編

ワタンシが霧吹きをかけつつ歩く。

ワタンシ ここは、念願の発願ほっかんの、西の山。

気がつけば、我が故郷の顔から飛び出して3
ヶ月とちよいがたっていたよ？

だんだんと大きくなるリズムとヴィジョンに
導かれて、歩きました

リズムヴィジョンウォーク。今の時間は、未
来に生まれる人に借りている。タネまきをせ
ねばならぬ。赤い草がみずみずしく揺れる。²²
草が緑だなんて、固定概念。

ワタンシはタネを蒔きながら、山を登る。

ワタンシ この山は、アナタンの匂いがしたの。

薬剤師のアナタンの作る、薬の匂いがしまし
た。

自然と我は、アナタンとの思い出の上を歩い
ているような、そんな気分。

ワタンシ ねえ。

アナタン、昔に我にこう言ったことがあつた
んです。

「ね、ね、ね、ね、ね、ワタンシ。……旅立ち
だ！ここはもうだめだ。私達、ここから出られ

ないわけじゃない。ワタンシは、あの古い歌を信じてるの？根っこのない草が全部枯れるわけじゃない。ここはもうだめだ。想像力を殺した人間が植えずに食べて飢えていく。乾いた土と私を包んで殺す人が、合唱してるの。たのしく。

なのに私、なんで出ていかないんだろう？なんで忘れ物が怖くて、何も捨てられないんだろう？何が私を私にしてるの？」

ワタンシは笑う。

ワタンシ どうでもいい？

動く。と着地。呪術によって景色が変わる

●山頂登頂編

ワタンシ 物語も佳境。

山頂に着きました。

山頂には、音楽が溢れてますわあ。幸せ。リズムとヴィジョンに溢れて。多幸感。サグイ。イナタ。超ドープ。

ワタンシは山の上で、捨てたはずの地元を見る。

ワタンシ ……うわ！まじで老人の上に住んでる。たしかに。やばい。

大往生間近。人が、家が、畑が、役場が。吹き出物のよう。
で、

ワタンシは振り返り、新天地を見る。

ワタンシ ……んー！

ワタンシはヤッホー的にくつろいで、

ワタンシ おー！うえー！はー！（山頂で大声でいうこと）

ははははは！

ワタンシの顔に苦しげなシワがたくさんふえる。

ワタンシ かえりたくなかったの。

……なんで？

アナタン。

アナターー！ー！ー！

我。帰る。いったん。忘れ物をした。

脚立から降りる。呪術によって景色が変わる。

● 民衆説得編

ワタンシ そんなで昨日へ！

足をかけ飛ばして。戻ってきました。

同じ道のりをたどって。……っていうと、急に話が嘘くさく感じられると思いますがい。

地べたを這い、再び泥水をすすって。帰って来た。

あなた方でなく、アナタンだけの元へ。
でも、聞いて。
アナタン。なんて言ったと思います？
今と同じ話をしたらね。
私は行けない。
って。自分の幸せのためだけに故郷を捨てられない、おばあちゃんに恨まれるのが怖い。つて

ワタンシは笑う。

ワタンシ わかる。
さ。

我は、またこの問題にぶつかりました。
人の心を動かすのは、むずい。
自分の生み出した言葉は人には思った通りに₂₅
届かないの。
忘れたいのに、結局この話に戻って来てしま
う。
それでも、なにをはなすの？

呼吸で時間が変わる。
呪術によって景色が変わる。
盛大に豪快に大地が揺らぐような呪術。

● 民衆説得編

ワタンシ これが、最後の我の時間。
アナタンは言いました。我が民族全員を説得
したら、一緒にくるって。

あんたがた全員を説得したら、一緒にくるって。
ふざけんなよな、じゃあ、連れていくしかないっしょって感じで。
我はいま、皆さんの時間を拝借しています。でも
我思う。我のつくる垢まみれのヘリクツで、まっこうから情に訴えかけて、我は人の心なんて動かせないってわかっている。
ので、諦めながらの悪あがき。

呪術追加。

ワタンシ

我、いまから、夢を歌うので？我が使える汚い手をぜーんぶ使って。あなた方をそそのかすので？そそのかされてくれませんか？

一緒に我とワンダラー気取ってどこか遠くの、こよりずっとマシな場所を目指して、泥水をすすりませんかあ？

我、音楽、視覚効果、喋り方、パフォーマンス、インチキな魔法風のなにか、その全てを使っ
て、たのしませるんで。きてくれませんか？
だって、いま我、緊急事態！人の微細で繊細な
気持ちを汲んでやる必要なんて、ない！思
いません？思いました。それにあなたが「なん
出ていかないんだろう？」って言ったんじ
ゃん、言い訳ばかり言うなよって、勝手に未
来を作ってビビってんなよ、って思うんすよ。

……さあ？

さあ。さあ！

エンジンかかってきた。
この、このような、クソみたいな理由を原動力にした、もうすぐ終わる我の時間へようこそ！

呪術追加。

ワタンシ

ようこそ、我の時間へ。
歌をうたがう我の時間へ。

『鳥はもう飛びたつた？地に根を下ろしまし
よう？滅びのなかに、宇宙があつた？おわり
の踊りはおわらない？根のない草は枯れた、
人は歌うように死んでいく？最後の木が失わ
れても、衰退を繰り返しても、あなたは継承を
選ぶだろう？』
考えてないだけだった。ただただ怖く聞こえ₂₇
る呪いの歌を継承する必要などありはしない
わ。

考えてなかった。ここには空っぽしか入って
ない。思考停止を促す壮大ないわけ。架空
のいたのかもわからない先人の言葉、滅びに
向かう自分への美化神格化正当化。この集落
の歌。ソウルフルな呪いの言葉。終わらない
歌を歌うのはもうやめる。

ねえ、同胞たち同胞たち同胞たち。
あなた。あなた。アナタン。あなた。心からこ
こにいたいなら、いれればいい。

でも、それは本当にそうなの？あなたは考え
た？何も知らないままでは、この世界
は、あなたの、私の知らない、ありえないこと

がころがつてる。
ふくよかに芽吹いた匂いを感じて、鳥とともに歌う、風のように笑う、乾いていない皮膚のやわらかさにときめく。赤が緑に、黄色が青に、黄昏が朝焼けに変わる瞬間を。常識が覆る快感を知らないまま死んでいくの？
私は気になる。気になる。気になるの。
あの山の向こうにはなにがあるの？
地平線の彼方に何があるの？気になるよ、行こうよ。
知らない場所は、手では届かないから。
それでも足で、歩いて、遠くに行けた。行った。

呪術追加。

ワタンシ

……なのになんで私はおめおめ帰って来たんだらうね？

自分でもわからない。

くだらない呪いの言葉は信じない塗り替えて生きることに決めたのに。もっと気が遠くなるほどめくるめく世界が私を待ってるってわかってるのに。

なんで私は終わりの地元で無様にこんなみっともない余興をし続けて最後にこんなことを叫んでるのか自分でもわからない。

なんでこんな状態になるまで放っておいた？
食いつぶした更地を捨てる勇気がわかないお前が私をただただあざ笑うな。

もう二者択一まで来てるぞ？

なあお前。お前。お前。聞こえてる？影響され

てる？

……聞こえてる？

こつちをみて！

なんでここでの忘れ物が価値の高いものに思えてくる、過去も記憶もメモリーボイスもルーツも全然無視できない追いかけてくる。綺麗な景色もずっと1人だと嘘みたいに映像みたいに思えてくる。

私を私にしているのは。ここなのになに？

呪術停止。

○採決

ワタンシは息を整える。

ワタンシ ……さあ？

親愛なる同胞達に問う。

夢ももう弾切れ。余興は幕引き。

これまでの今までのあらましを全て聞き終えて、我と共に今を変えてくれる人はどこかにいますでしょうか。

さん、に、いちでおしえてねっ。

さ——————————。

……。

ワタンシ さん。に。

結果はわからない。暗闇が覆う。